

男女共同参画情報誌

あなたとわたし

vol.50
2016. 3月号

性別や年齢、国籍などの違いを超え、平等にともに手を携える関係でありたいから

特集

福生市の子育て力



福生市が「共働き子育てしやすい街」
全国ランキングで第2位に!

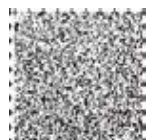


平成27年12月、日経DUALと日本経済新聞社が
100自治体に共同で行った調査^(※)をもとに、
日経DUALが独自の指標でランキングした「共働き子育てしやすい街」で、
福生市がなんと全国で第2位、都内でも第2位に輝きました!

けれど、本当に子育てしやすいの? 福生市在住・在勤のみなさんに聞いてみました!

※調査対象: 1都3県(東京・神奈川・埼玉・千葉)の主要地区と全国の政令指定都市、計100自治体

目の不自由な方への情報ツールとして開発された二次元シンボル「SPコード」を掲載しています。
専用の読み取り装置を使って、今号の内容を要約した文字情報を音声で聞くことができます。
専用の読み取り装置は市内の公共施設9か所に設置しています。くわしくは協働推進課へお問い合わせください。



児童の施設や 保育の環境が 充実している!

福生市って、子育てママ・パパに
優しい街なんでしょうか?
福生市に在住・在勤の、
20代から60代の男女58人から
ご回答いただきました。

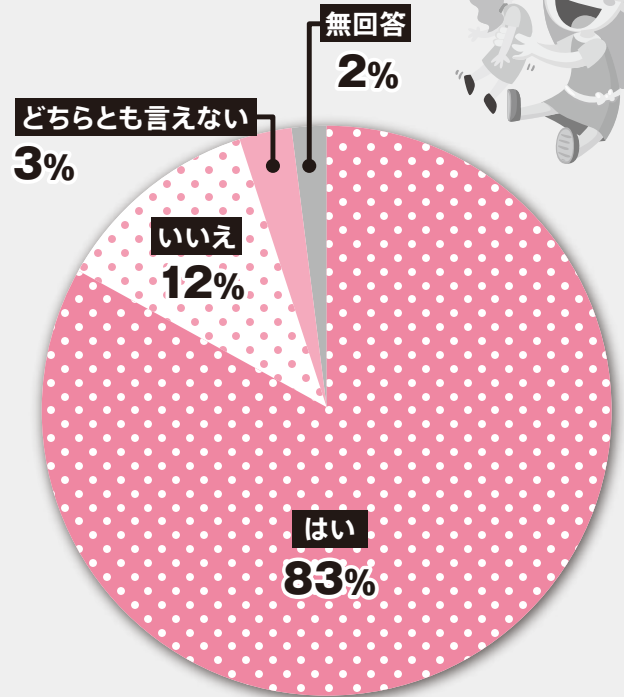
(調査対象：市内保育園3園、
幼稚園2園、
学童クラブ3カ所)



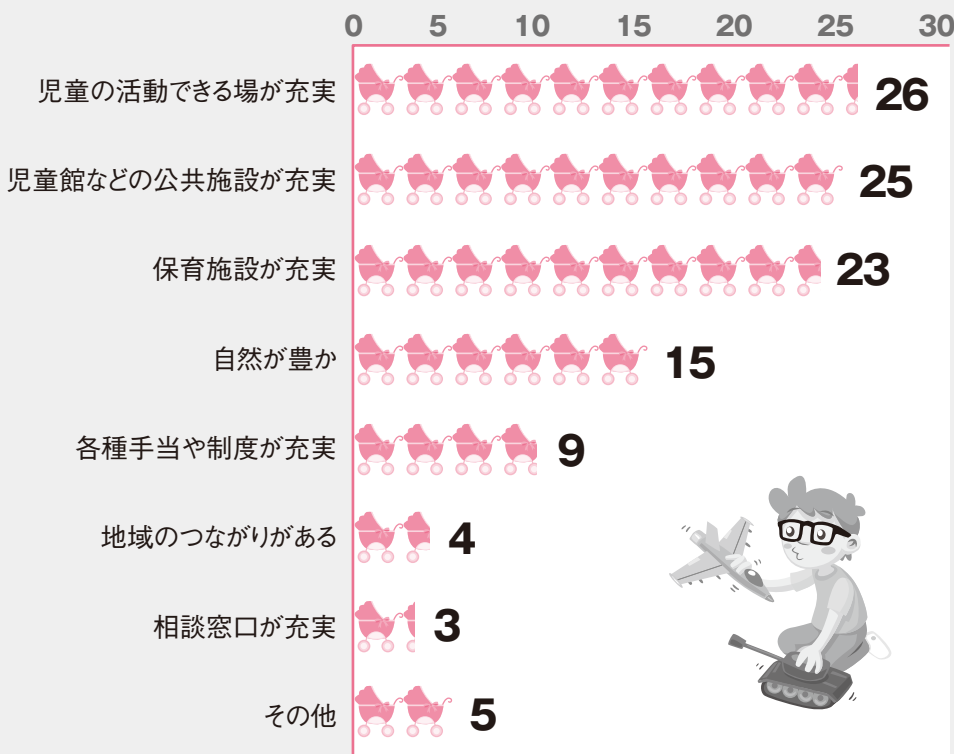
- 福生市は子育てしやすい街だと思いますか?

「はい」と答えた人が83%と
圧倒的多数。

やはり市民の方たちも、
子育てしやすさを実感して
いるようです。



- 福生市が子育てしやすい理由は? (複数回答)



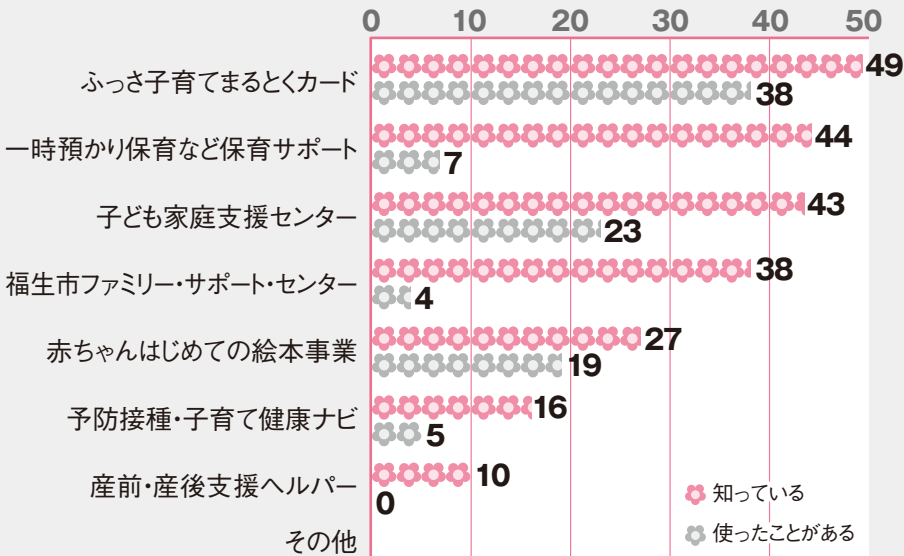
あと何があれば?

確かに福生市は子育てしやすい街なんだ!と実感できる調査結果でしたが、「福祉バスが、子育て中の人に使いづらい」「乳幼児健診を土日にもしてほしい」「インフルエンザの予防接種は無料にしてほしい」「公園に日陰がなく炎天下では心配」などの意見がありました。すべての要望がかなうのは難しいけれど、利用できる施設やサービスは利用して、快適な子育てライフを楽しみたいですね!!

施設の充実に関する項目が上位を占めました。

いろいろなサポート、 もっと利用して!

● 福生市の子育て支援制度 どのくらい知ってる? 使ってる?



「ふっさ子育てまるとくカード」は知名度も利用度も高いようです。子どもの一時預かり(病児保育も含む)は知られているのに利用されていないようですが、実は、病児保育は、福生市が西多摩地区で最初にスタートしたサービスなんです! また、産前・産後支援ヘルパーの利用がゼロだったのは残念。核家族の多い昨今、夫婦だけで出産を迎えるのは不安も多いはず。ぜひ利用しましょう!

子ども家庭支援課の人に聞く!

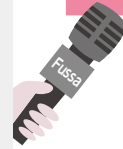
「このまちが好き、
子育てするならふっさ」を推進しています

子ども家庭支援課 子ども家庭支援センター係 高橋直之さん



子育てには小さな悩みや不安がつきものです。ちょっとした心配ごと等を気軽に相談できるところが子ども家庭支援センターです。館内の「ふれあいひろば」は、子育てに関する情報交換や友だち作りなど「出会いと集いの場」。たくさんの親子が遊びにきています。ほかにも、妊産婦の方の育児や家事援助をする「産前・産後支援ヘルパー事業」や「ファミリー・サポート・センター事業」等を実施し、子育て家庭を応援しています。ぜひお気軽にお越しください。

外国人に聞きました!



日本の子育て、 どう思う?



お名前:
モリ ヒメナさん
出身国:ペルー共和国
来日歴:7年目

福生で3人目の子どもを出産。
働くママ。

日本はペルーと比べ、色々と子育てに関する制度や施設が整っています。産院はきれいで先生も丁寧で、安心して出産することができました。ペルーでは出産の翌日に退院しますが、日本の病院は1週間近く入院できて、お母さんの健康と赤ちゃんの命を守ることを大事にしてくれていると感じます。

ペルーの保育園や幼稚園は、預けられる時間が4時間程度で、働くママは、長時間預けられるベビーシッターを利用するのが一般的。そこは日本とは違いますね。



お名前:
カリム ザック
アブルードさん
出身国:ガーナ共和国
来日歴:12年目

福生に来て12年。会社員。
3児のパパ。

ガーナでは、子どもの頃、屋台の保育園のような場所に幼い子どもが集まって、近所のお姉さんたちに面倒を見てもらっていました。日本に比べ、子育ては地域ぐるみでやっていたね。

今、子どもを福生の保育園に通わせていますが、一年間を通して色々な行事があって大人たちも顔を合わせられるところが素晴らしいと感じます。育児に関する手当や制度なども充実しています。

福生は、スーパーや病院が近く、色々な人が住みやすい街だと思います。

目の不自由な方への情報ツールとして開発された二次元シンボル「SPコード」を掲載しています。専用の読み取り装置を使って、今号の内容を要約した文字情報を音声で聞くことができます。専用の読み取り装置は市内の公共施設9か所に設置しています。くわしくは協働推進課へお問い合わせください。





男の生き方 女の生き方



福生市在住・在勤の方々に聞いた、それぞれの男性観、女性観。

男の生き方

性別ではなく・・・

30代 男性 福生市在住

大学卒業後、不動産会社に営業マンとして入社しました。そこでは、男性と女性の仕事ははっきり分かれていました。男性は営業マンとして最前線でバリバリ働き、そのフォローの事務や雑用は女性。残業するのは男性、女性は定時に帰宅。同僚男性は「女はいいよな」とよくぼやいていました。でも、女性と同じ仕事を頼まれたら、「なんで女がやるような仕事をしないといけないのか」と文句を言うような職場でした。その後転職し、今の会社に入社しましたが、仕事内容での男女差はほとんどありません。花の手入れやたまにある来客へのお茶汲みは女性がするといった風潮はまだ残っていますが……。ただ、時代の流れなのか、女性への期待が高まり、仕事も残業も多くなり、女性の負担が増えてきているのも感じます。

“男女平等”という言葉をよく耳にしますが、平等という言葉が一人歩きしているようにも感じます。女性だから、男性だからではなく、みんなが自分らしく生きていける世の中になるといいですね。

女の生き方

家庭科の授業

40代 女性 福生市在住

福生に生まれ育ち、思えば40年以上が経ちました。現在は夫婦共働きで、小学生の女の子が二人。毎日バタバタしながらも、楽しく日々を過ごしています。小学校では、授業の中で「家庭科」の時間がありますが、現在は、男子も女子も一緒に授業を受け、皆で料理を作ったりミシンでエプロンを作ったりと、自分の時代とはだいぶ変わったなと感じています。私の中学時代では、男子は「技術」、女子は「家庭科」に分かれ、同時間帯に全く別の授業が行われ、男子は「家庭科」を学ぶことなく中学を卒業していました。

男性は外へ働きに、女性は家庭を守る、というスタイルはだいぶ変わり、共働きの家庭が増えてきました。

共働きだと、どうしても女性の家事や育児の負担が大きくなり、苦しむ家庭もあります。男性の方、簡単なことからでいいのです。「家庭科」で習ったことを活用し、どんどん家庭に入ってください。そして、夫婦で共に補い助け合える家庭を築き上げていってください。きっと子どもたちも親の背中を見ていますよ。

編集員を募集しています！

編集に興味がある方、何かやってみたい方！
お待ちしております！
ご意見、情報もお待ちしております！

電話：宮野まで！ 042-551-1590

編集後記

今回の特集で、これからパパ・ママになる方や、現在、福生で子育て中の方が安心されれば幸いです。(谷川)

アンケートの自由記入欄への回答の多さに驚きました。本誌が情報の受発信や交流のきっかけになるよう期待します。(田中)

広告を募集しています！次号は7月発行予定です(全戸配布)

「あなたとわたし」に掲載する広告を募集しています。

【規格】 4.5センチ×9センチ。各号2枠

【広告料】 1枠：15,000円

※申込み用紙は市のホームページからダウンロードできます。内容により広告掲載できない場合がありますので、詳しくはお問い合わせください。

【問合せ】 福生市生活環境部協働推進課 TEL551-1590

市民編集員

○田中直美 ○谷川由紀子 ○寺崎敏枝

作製：(有)セイビ印刷所 協力：石井栄子(編集)、青木由佳(DTP)

あなたとわたし vol.50 2016年3月号

発行：福生市 生活環境部 協働推進課

〒197-8501 東京都福生市本町5番地 電話 042-551-1590

<http://www.city.fussa.tokyo.jp/>